ETAJIMA

GoON! Vol.29

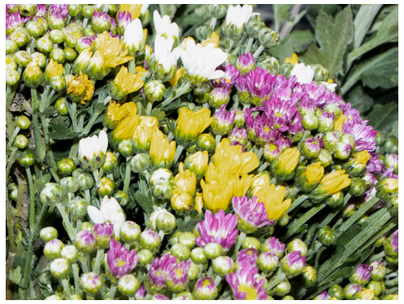
山本農園（沖美町）
江田島市農業後継者クラブ会長

山本（やまもと） 満彦（みつひこ）さん

沖美町出身の山本さんは、家族三代の菊農家。高校卒業後、菊の生産地で有名な福岡県八女市で、1年間住み込み研修。修了後、19歳で家業を継いだ。「継承間もない頃より、ある程度仕事も任された今のほうが責任を強く感じる」と山本さん。近年の猛暑対応、機械化による省力、農薬散布や肥料計算など苦心することも多い。

朝6時半から軽トラックで、三高に散在する4ヘクタールの圃場（ほじょう）を収穫に回る。三高港前の選果場から県内外へ、盆時期は約12万本を出荷する。

家業の傍ら、江田島市農業後継者クラブの会長を務める。当時の最年少で、前会長から任された。顧問と会員あわせて14人が所属。イベント参加、生花店や畑の視察、資材や農薬の勉強、市場交流が主な活動。情報交換や会合の機会をもつ。



▲通年で約 50 種類の菊を栽培する

何年もやって、上手に腕を磨くことの大切さ

後継者クラブの名称通り、親の紹介などで入会することが多いが、新規入会も歓迎で、「農業は相場の世界。何年もやって上手に技術を磨かないと難しいが、もしやりたいって人がおられたら、この後継者クラブ、仲間もいるから」と山本さん。

八女市での研修後も、現地で知り合った友達と今も会って情報交換を欠かさない。それぞれが仕事を持つ中、会合や交流を大切にする意義を、後継者クラブにも絶やさず傾注する。

▲選果場での作業を経て出荷される

菊の他にもバターナッツかぼちゃや栗など四季折々の農作物も好評。山本農園のインスタグラムはこちらから

ETAJIMA GoON!（えたじまゴーオン）とは？
市内で活躍する人やお店をリレー形式で紹介。掲載された人が次の取材先を紹介する、“つなぐ・つながる”がテーマの企画です。毎月中旬頃に更新の A3 判（フルカラー PDF 版）は写真・記事も増量でお届けします。

つむぐ通信

シリーズ連載　その90

「つむぐ通信」では、地域おこし協力隊員が、月替わりで活動内容やイベントなどのお知らせ、地域おこしに関する企画や提案を紹介していきます。

【江田島市地域おこし協力隊】

空き家活用ディレクター	蛇草　孝介
国際交流支援員	大方　芳恵
えたじま里海ナビゲーター	守本　怜矢
観光事業総合プランナー	竹林　健一

今月は
竹林（たけばやし） 健一（けんいち） さん

facebookで情報を発信しています　江田島市地域おこし協力隊

皆さま、こんにちは、地域おこし協力隊の竹林健一です。今年の6月の着任から5か月が経過しました。

この5か月を振り返るとプライベート、仕事それぞれにおいて様々なイベントがありましたが、本当に地元の皆さまに助けられています。

まずプライベートでは、7月にご近所の方のご厚意で畑をお借りすることができて、休日はもっぱら家庭菜園での作業を楽しみ、9月にはカヤックの大会や船釣りに連れ行っていただき江田島市での暮らしを満喫しています。

▲船釣りの釣果

次に仕事の面ですが、今年の広報紙8月号の「つむぐ通信」で記載したレンタサイクル事業における民間のポータルサイト活用は7月から登録を開始したものの、猛暑の影響もあり全く反応がありませんでした。全国的にも猛暑の影響で屋外の体験アクティビティは不調ということでしたので、秋以降の集客に向け仕切り直したいと思います。

次に広島県内の中山間地域が抱える課題解決のためのプラグラム「ひろしま里山ウェーブ」が9月中旬に3日間にわたり開催されました。私は観光協会の代表として江田島市の観光に関する課題のプレゼンを担当しましたが、参加者の皆さんとのコミュニケーションから、今後の観光コンテンツ造成に関するヒントになる様々な意見を伺う機会となり非常に有意義な体験でした。

そして体験プログラム造成ですが、10月には「海ホタル観賞会」「オリーブ収穫体験」2つの体験プログラムを催行します。この記事を書いているタイミングでは「海ホタル観賞会」のみの実施ですが、こちらは2回催行の内1回目の催行が完了し、広島市内から約20名のお客様が参加されて、海ホタル採集を楽しまれました。幻想的な青い光は参加者からも好評で、今後江田島市の名物コンテンツになることを期待しています。このプログラムの講師は同じ地域おこし協力隊の守本さんが対応してくださったのですが、彼の協力がなければ実施できなかったと思いますので、この場を借りてお礼申し上げます。

▼海ホタル

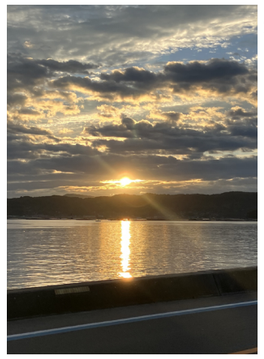
▲海ホタル観察の様子

オリーブ収穫体験はこの記事を書いている段階では実施前ですが、2日程で10数名の参加者を見込んでおり、こちらも参加したお客様に楽しんでいただけることを願っています。

▲収穫したオリーブ

最後に今後の予定ですが、いよいよ今年度も「えたじまものがたり博覧会（以下「えも博」）」が11月11日から12月17日にかけて開催されます。

「えも博」は事業者の皆さんの体験型コンテンツ造成のテストの場であり、このイベントを通じて新しい体験プログラムが造成できる可能性があります。新しいプログラムの造成は、江田島市におけるお客様の楽しみ方の選択肢を広げることに繋がり、観光客の増加に繋がる大切なイベントだと思いますので、今まで以上に誘客できるよう、しっかりと取り組んでまいります。



▲高田港の朝日